

# 誘導結合プラズマ発光分光分析装置(Inductivity coupled plasma optical emission spectrometer: ICP-OES)

## 1. 概要

プラズマ化したアルゴンガスにイオンを導入することで原子固有の波長の発光をさせ、元素の定性・定量をする分析装置。

感度は ppm~ppb である。



## 2. 特性

- プラズマ光源部  
トーチ： 石英製ミニトーチ
- 分光器部  
波長範囲： 167 nm ~ 800 nm  
分散素子： エシエル回折格子 79 本/mm  
逆線分散： 0.27 nm/mm (200 nm)、0.82 nm/mm (600 nm)
- 測光部  
CCD 半導体面検出器  
有効受光面： 20.48 mm x 20.48 mm  
有効画素数： 1024 x 1024 ピクセル  
ピクセルサイズ： 20  $\mu$ m x 20  $\mu$ m
- データ処理部  
1 データファイル 最大 300 試料  
定性分析 (内蔵データベースを用いた分析)  
定量分析 (検量線法/標準添加法)  
補正法： BG 補正、元素間補正、内標準補正、ドリフト補正、秤量・希釈補正  
検量線： 1~3 次式

## 3. 設置場所

イノベーションリサーチラボ (医療棟)

## 4. 提出書類

利用の詳細は、装置担当者に直接問い合わせること。

使用後は、右上写真にあるノートに、所属、氏名、使用時間を記入すること。

## 5. 装置担当者、連絡先

鈴木実(2390)、近藤夏子(2425)